

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月28日	記入者		連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	経済部	課名	相模湖経済環境課	課長名	長谷川亮司
平成19年度部名	経済部	課名	相模湖経済環境課	課長名	長谷川亮司
事務事業名	有害鳥獣駆除等対策事業費				
予算上の事務事業名	有害鳥獣駆除等対策事業費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		31510		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第5節 都市農業の振興				
施策名	第1施策 安定した農業経営の確立				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	(県) 鳥獣保護管理対策事業費補助金交付要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	対策	▼	5 事業開始年度	平成18年度	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)	(2) 対象(誰、何)				
有害鳥獣から農作物被害を防ぐため、サルについては追払い、イノシシ等については捕獲を行う。 (19年度については農林課で予算化)	一般農業者				
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	サルについては相模湖町野猿対策協議会による年間173日の追払い、イノシシ等については猟友会による80頭の加害個体の捕獲を行った。				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	3,156	0	0
一般財源	0	0	1,756	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	1,400	0	0
人件費の合計	0	0	3,201	3,201	3,201
事業コスト合計	0	0	6,357	3,201	3,201
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	有害鳥獣駆除等対策事業費			対象名称と単位	追払い回数(回)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	3,156	0	0
対象数	0	0	221	0	0
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	14,281	#DIV/0!	#DIV/0!
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	追払い回数（回）	指標式と指標の説明	追払い回数の推移を見る。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	221.0		
目標	0.0	0.0		0.0	0.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	被害件数（回）	指標式と指標の説明	被害件数（回）の推移を見る。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	221.0		
目標	0.0	0.0		0.0	0.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
C	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		現状の追払い、捕獲等を実施していく中で、被害農家による対策等を検討する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策 被害者による自衛対策の強化。			1 5 課題として認識されたこと サルの行動域の拡大。 生活被害の加害個体以外は捕獲ができない。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			